

 千代田区立番町小学校 校長 浅岡 寿郎 副校長 茅野 克俊 愛育会会長 橋本 樹宜 (校章) 所在地 〒102-0085 千代田区六番町8番地 電話 03-3263-3721 F A X 03-3263-3723 最寄り駅 四ツ谷駅、市ヶ谷駅、麴町駅	児童数と学級数 (令和元年5月1日現在)							
	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12	
児童数	男	36	39	44	45	35	42	241
	女	31	22	27	28	33	28	169
	計	67	61	71	73	68	70	410
創立記念日 12月4日								

## I 教育の概要

### 1 学校・地域の特徴

学区域は、紀州家・尾張家・井伊家の中屋敷があったほか、殆どが「番方」の住む江戸の武家屋敷町であったことから、「番町」という地名がついた。明治維新後は、この地に政治家や文化人等が多く居住していた。環境的には、四谷・市ヶ谷の外濠土手、紀州家跡の清水谷公園等、緑の多い高級住宅地として知られている。近年は、大学や私立学校・在日外国人学校等が増え文教地区を形成している。また、国際ホテルや高級マンションが林立し、町の様相が変わってきている。

本校は、平成5年に永田町小学校の一部と統合され、千代田番町小学校となったが、平成6年には再び番町小学校と改称された。番町小学校は、明治3年に市ヶ谷八幡洞雲寺内に東京府下仮小学校として設置され、永田町小学校は明治39年に東京市永田町尋常小学校として建設許可がおりており、共に長い歴史をもっている。

### 2 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

千代田区共有ビジョンの理念に基づき、人と人のつながりの中で生き、自分自身と向き合いながら新しい時代を生きぬく子どもを育むため、次の目標を設定する。

##### ◎考える子

習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を磨き合いながら主体的に学習に取り組む児童を育てる。

##### ◎思いやる子

豊かな人間性をもち、生命や人格を尊重しながら互いを高め合う児童を育てる。

##### ◎やりぬく子

健康な体と健全な心を持ち、何事にも前向きな気持ちで挑戦し、最後までやりぬく児童を育てる。

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

##### ◎継続的な授業改善の推進

① 言葉の力を培う言語活動の充実を図り、児童に思考力・判断力・表現力を養う主体的・対話的な深い学び(アクティブラーニング)を実現する研修・研究活動に取り組む。

② 書くことを通して自らの考えを深める児童を育み、一人一人に(科学的)思考力を養う。

③ 対話によって学び合う子が育つ、全教師による継続的な授業改善を展開するとともに、校内言語環境の整備・充実を図る。

##### ◎人のために全力を尽くす子…相手を敬う学校環境

「返事・挨拶・後始末」「ありがとう」など基本的な生活習慣を身に付け、他者を大事にする児童を育むために、道徳教育を重視する。異学年や幼稚園児との交流活動を充実させることにより、他者のために力を尽くす心地よさを味わわせ自尊感情を育む。また、地域貢献の実感をもたせる取組も重視し、自らが育つ学校や区、都、国を愛する心を涵養する。特別支援教室(拠点校)の円滑な運営に向けて、発達支援に関する相談活動や諸対応の充実を図る。

##### ◎体を鍛える元気な子…健康を保持・増進する諸活動

日常的な運動経験や食育を通して、積極的に運動に親しみ健康に留意し、体力を高める児童が育つ教育活動を工夫する。また、番町スタイルのオリンピック・パラリンピック教育推進プログラムを構築し、児童の語学力・体力の向上を図る。

##### ◎地域・家庭とともに創る学校の実現…子ども中心の地域密着型の学校

互いの役割を精査・確認しながら、家庭・愛育会・同窓会との緊密な連携を実現し、児童のために同じ方向で後押しをしていく体制を整える。そして、創立146年の気風をつなぎながら、本校の歴史と伝統を紡いでいく。

##### ◎一蓮托生にて教育を推進する学校の実現…番町スタイルの堅持と大胆で細心な改革

常に、「児童にとってどうか」の観点から教育活動を振り返り、教育水準の向上を図る。

### 3 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

##### ア 各教科

◎思考力・判断力・表現力を伸ばすために、国語科と理科を基盤としながら読書活動を設定し、各教科、領域と関連付けながら言語活動の充実を図る。(区研究協力校、東京都言語能力向上拠点校、文部科学省・国立教育政策研究所学力把握研究協力校として発表)

◎体験を通した学習指導の充実を図るとともに、各分野の一線級の指導者から子どもが学ぶ機会を確保する。

◎積極的に運動に親しむ児童を育成するために、健康に留意したり体力を高めたりする体育科教育を実現する。

- 学習意欲の向上と自ら学ぶ態度を育成するために、ICT機器を活用した授業を日常的に工夫し、各学年の発達特性や実態に応じた特色ある学習指導を推進する。

#### イ 道徳

- 命あるもの全てを大切に、他者のために全力を尽くし貢献する等の道徳的価値を一人一人の児童が自覚し自尊感情を高め、道徳的実践力を身に付けるために、全教育活動で道徳教育を推進する。道徳の時間を要として心の教育コーディネーター事業を活用し、年間4回の研究授業・研修会を全校体制で行う。
- 道徳教育推進教師を中心に道徳授業を充実させ、地域や保護者と児童の道徳性の育成について共に考えるために、道徳授業地区公開講座や特設公開授業を行い、そのもち方を工夫する。
- 「特別の教科道徳」へと転換されることを踏まえ、発達段階に応じて一人一人の児童が自分事として「考える道徳」「議論する道徳」となる授業改善を行う。

#### ウ 外国語活動

- 英語活動コーディネーターやALTと連携し、オリンピック・パラリンピック教育の国際理解の領域に外国語活動を位置付けたプログラムを構築し、コミュニケーション能力を高めるとともに、外国の言語や文化への理解を深める体験的な活動を行う。

#### エ 総合的な学習の時間

- 自ら立てた課題を主体的、創造的に解決していくことができるようにするため、食育や各教科の学習と関連付けて、学び方や見方・考え方を身に付けられるような指導を工夫する。
- オリンピック・パラリンピック教育の国際理解・伝統の領域と関連させたプログラムを構築する。

#### オ 特別活動

- 望ましい人間関係を築く能力を養い、学校生活の充実と向上を図るために、学級活動、児童会活動、委員会活動、クラブ活動において、よりよい学校生活づくりとなるような活動を工夫する。
- 学級や学校の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を身に付けるために、各教科、道徳の時間の学習や外国語活動、行事との関連を図った指導を充実する。
- 異学年間の交流を深め、番町小学校の一員としての自覚を促すために、たてわり班による全校遠足や児童集会等の活動を通して、自主的、実践的な態度を育成する。

#### (2) 特色ある教育活動

- 活字と親しむことができるようにするため、教科横断的な言語活動の指導を工夫するとともに、千代田図書館、図書館司書と連携した計画的な読書指導を行う。
- 読書への関心を高めるとともに、落ち着いた学校生活を実現するため、週3日、朝の読書タイムを設ける。また、低学年を中心にした保護者ボランティアによる読み聞かせの会と、学生ボランティアによる読み聞かせの会を定期的実施する。
- 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた地域や学校を愛する児童を育成するために、全教育活動を通して、記念資料室を活用した授業を工夫したり、同窓生による授業を設定したりする等、番町小学校の歴史や伝統を学ぶ機会をもつ。
- 情操を育み、社会性や心豊かな児童を育成するために、課外で「番町ジュニアバンド(BJB)」を編成し、学校行事や集会、地域の行事等へ積極的に参画する。
- 地域の文化や伝統を尊重し地域を愛する心や、学校、地域への所属意識を高めるために、地域の人材を生かした教育活動を推進する。(番町太鼓、山王祭)
- 多様な人間関係の中で、思いやりの心や自主性を育てるために、保護者会経営の工夫やスクールライフサポーター事業の推進について、家庭・学校の共同参画を図る。
- 千代田エコシステム(CES)に基づいた環境教育への取組を継続的に進めるため、校内緑化の活動、総合的な学習や食育の指導、地域清掃への参加などを積極的に行う。

#### (3) 生活指導・進路指導

##### ア 生活指導

- 児童の規範意識を高め、集団生活における基本的な生活習慣を確立し、健康で安全な楽しい学校生活を送ることができるようにする。そのため、生活のきまり「番町子ども」を基盤に全職員で一貫性のある指導を行い、節度ある態度を培う。
- いじめ・不登校などの問題行動の未然防止・早期発見・早期解決を図ることができるようにするために、学校いじめ防止基本方針に基づき学校運営連絡会やいじめ防止対策会議を適宜開催するとともに、週に1回全職員で児童の情報交換を行う。また、スクールカウンセラーによる全員面接、フレンドシップ授業を実施する。
- 児童理解を深め、個に応じた支援を充実するため支援検討会を実施し、スクールカウンセラーや巡回アドバイザー、各種機関等との緊密な連携を図る。
- 家庭・地域社会とともに児童の安全確保を図るため、愛育会(PTA)や地元町会、麴町警察署、幼稚園、アフタースクール、青少年委員、セーフティネットワーク会議等に向けた積極的な情報発信を行う。
- 連れ去り防止、インターネット犯罪被害や薬物乱用防止等に対する意識を高めるために、学年の発達段階に応じた指導を工夫し、親子で学ぶセーフティ教室を実施する。
- エキスパートエラーを回避するため、非常時における多様な対応を想定した防災・安全指導を計画的に行い、危機管理意識を高めるとともに、危機回避能力を養う防災教育を展開する。

##### イ 進路指導

- 自分のよさを自覚し、将来への夢や希望をもたせるため、同窓生による講演会や全教育活動を通して児童の発達段階に応じた生き方の指導をするとともに、生涯にわたって学習することの意味を考え、自らの生き方を探求するキャリア教育の充実を図る。

#### 4 年間行事計画（毎月、避難訓練・安全指導を実施）

4月	・春季休業終 ・1学期始業式 ・入学式 ・春の交通安全指導 ・防犯ベル訓練 ・安全、安心パトローラー斉下校 ・保護者会 ・1年生を迎える会 ・1年交通安全教室 ・離任式 ・6年全国学力・学習状況調査 ・こいのぼり集会 ・2年セーフティー教室
5月	・2、3年消防写生会 ・4～6年区達成度調査 ・4年水道キャラバン ・3年自転車安全教室 ・5年孀恋自然体験交流教室（春） ・1年親子給食会 ・1・2年校外学習 ・3年校外学習 ・6年箱根移動教室
6月	・個人面談 ・よい歯の表彰式 ・6年区陸上記録会 ・3年一斉清掃 ・体力テスト（1～6年） ・プール開き ・4年校外学習 ・道徳授業地区公開講座
7月	・5年都学力調査 ・七夕集会 ・学校保健委員会 ・1学期終業式 ・夏季休業始 ・夏季水泳指導始 ・4年岩井臨海学校 ・5年泳力向上プログラム
8月	・ラジオ体操会 ・夏季水泳指導終 ・夏季休業終
9月	・2学期始業式 ・総合防災訓練 ・5年区水泳記録会 ・プール納め ・保護者会 ・5、6年セーフティ教室 ・番町大運動会
10月	・2年校外学習 ・給食試食会 ・3年ふれあい給食 ・5年孀恋自然体験交流教室（秋） ・全校遠足 ・番町小いのちの日 ・3年校外学習 ・就学時健康診断
11月	・1年一斉清掃 ・1年校外学習 ・学芸会 ・6年広告教室 ・勤労感謝の会 ・個人面談
12月	・創立148周年記念朝会 ・6年国会見学 ・5年校外学習 ・2学期終業式 ・1、3、4年セーフティー教室 ・冬季休業始
1月	・冬季休業終 ・3学期始業式 ・席書き会 ・書き初め展 ・番町展（展覧会）
2月	・学校保健委員会 ・持久走大会 5年校外学習 ・幼小交流給食 ・新1年保護者説明会 ・6年校外学習 ・管楽器演奏会 ・6年生を送る会 ・4年校外学習
3月	・謝恩会 ・4年花の芽調査 ・保護者会 ・修了式 ・卒業式 ・春季休業始

## II 現況

### 学校施設・規模一覧

現校舎	起工 昭和45年10月3日 竣工 昭和47年3月2日		教室	普通	12室 1室=63㎡
校舎構造	鉄筋コンクリート 地上4階 地下1階			特別	24室 理科室、音楽室、図画室、工作室、家庭科室、 各準備室、図書室、教育相談室、放送室、資料室、 ランチルーム、少人数教室、特別支援教室 学習室、記念資料室、パソコンルーム
敷地面積	7005.86㎡		管理室 その他	校長室、応接室、職員室、事務室、保健室、 会議室、印刷室、主事室、給食調理室、更衣室 アフタースクール番町	
延床面積	5912㎡			プール	25m×8.8m・4コース 水深 1.2m～0.85m 徒歩プール 10m×3m 水深 0.5m～0.3m
運動場	屋内	714㎡			
	屋外	2608㎡			
	屋上	897.5㎡			
	合計	4219.5㎡			

## III 沿革の概要

明	3.6.13	市ヶ谷八幡洞雲寺に、東京府下仮小学校の一つとして設置。
明	4.12.4	仮小学校を廃し文部省直轄の小学第二校の呼称に改める。正式の小学校としての誕生を記念し開校式を行い、この日を立記念日と定める。
明	5.6.	現在地に移転。（小幡藩邸跡）
明	6.5.3	第三中学区第一小学・番町学校と改称。
明	19.10.26	皇太子殿下（後の大正天皇）をお迎えする。
明	22.11.	東京市になったお祝いに梅のかんざしを付けて鎌倉合同遠足に行く。（現在の校章のもと）
明	35.4.	校章をβから梅の花に変える。校歌「われらがかざせる」ができる。
明	41.4.1	高等科分離、番町尋常小学校と改称、校旗ができる。
大	9.12.4	創立50周年式典を挙げる。
大	12.9.1	関東大震災で新築中の校舎が被害を受ける。
大	13.3.21	鉄筋コンクリート3階建ての耐震、耐火校舎ができる。
昭	16.4.1	東京市立番町国民学校と改称。
昭	19.9.1	山梨県吉田に戦時集団疎開。
昭	20.5.25	東京大空襲のため、校舎、教具、書類の大半を消失。
昭	20.10.22	集団疎開を解団し、全児童母校に帰校。
昭	20.11.5	残存教室で授業開始。（児童数78名）
昭	22.4.1	東京都千代田区立番町小学校と改称。
昭	26.12.4	天皇陛下の行幸を仰ぎ、創立80周年記念式典を挙げる。（児童数658名）

昭	32. 4. 1	児童数 1,700 名となる。
昭	36.12. 4	皇太子殿下、皇太子妃殿下の台臨を仰ぎ、創立 90 周年記念式典を挙 行 現在の講堂ができる。
昭	40. 9.	ニューヨーク市立クインズ第 24 小学校と姉妹校になる。
昭	47. 3. 2	新校舎落成式（現在の校舎）校地買収 60.20 坪、総費用 430,104,000 円。
昭	47. 5.10	天皇・皇后両陛下の行幸を仰ぎ、創立百周年記念式典を挙 行。
昭	50. 6.26	全国社会科学研究大会
昭	51. 2.26	千代田区研究協力校発表会
昭	53.10.27	全国理科研究大会
昭	56. 6.25	千代田区研究協力校発表会
昭	56.12. 4	皇太子殿下、皇太子妃殿下の台臨を仰ぎ、創立 110 周年記念式典を挙 行。
昭	59.11.24	全国道徳・特別活動研究発表会
昭	60.11.21	千代田区研究協力校発表会「特別活動」
昭	63.10.28	日本初等理科教育研究全国大会
平	元. 6. 6	千代田区研究協力校発表会「理科」
平	3.12. 4	皇太子殿下の台臨を仰ぎ、創立 120 周年記念式典を挙 行。
平	5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田番町小学校となる。
平	5.10.20	ポルトガル共和国ソアレス大統領夫人来校
平	5.11. 2	全国小学校社会科学研究協議会全国大会並びに千代田区研究協力校発表会「社会科」
平	6. 1. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立番町小学校となる。
平	6.10.24	フィジー共和国ランブカ首相夫人来校
平	7.10.29	校章制定（菊池稔夫案）
平	7.10.30	パキスタン・イスラム共和国上院議長夫人来校
平	8.10.11	協力指導組織研究全国大会
平	9. 1.24	文部省読書指導研究指定校・千代田区研究協力校発表会
平	10.12.14	ラトビア共和国大統領夫人来校
平	11.12. 4	開校記念日を定める。（1 2 月 4 日）
平	12. 2. 5	二つの校歌を制定する。「輝いて今日を」（中田喜直作曲、こわせたまみ作詞） 「われらがかざせる」（中村秋香作詞、小山作之助作曲）
平	12. 4. 1	地方自治法の改正に伴い千代田区立番町小学校となる。
平	12.10.13	中華人民共和国首相夫人来校
平	12.11.10	千代田区研究協力校発表会「生活科」「総合的な学習の時間」
平	16.12.10	千代田区研究協力校発表会「生活科・総合（他教科関連）」
平	18. 7. 5	アメリカ連邦議会より視察来校。
平	18.10.31	安倍総理大臣夫人、タンザニア大統領夫人来校
平	18.12. 2	創立 135 周年記念式典を挙 行。
平	18.12. 5	パキスタンイスラム共和国より国賓来校。
平	18.12.14	公賓インド首相歓迎行事参加（首相官邸）
平	19. 1.29	東京都小学校理科教育研究会研究発表会「生活科・理科」
平	19. 3.26	スウェーデン国王歓迎行事参加（皇居）
平	19. 4.11	中国国務院総理公賓歓迎行事参加（首相官邸）
平	19. 5.18	カンボジア首相歓迎行事参加（首相官邸）
平	19.10.17	スーダン国大臣 視察来校
平	19.12. 3	国立教育政策研究所教育課程研究指定校・千代田区研究協力校発表会「理科・生活科」
平	20. 3.	校舎耐震工事（～20.9）
平	20. 6.30	パン・ギムン国連事務総長歓迎行事参加（首相官邸）
平	20.11.11	スペイン国王歓迎行事参加（セルバンテス文化センター東京）
平	20.12.12	国立教育政策研究所教育課程研究指定校・千代田区研究協力校発表会「理科・生活科」
平	21. 5.11	シンガポール大統領歓迎行事参加（皇居）
平	21.12. 9	シリア・アラブ共和国副首相夫人来校
平	22. 5.31	中国首相歓迎行事参加（首相官邸）
平	22.12.10	千代田区研究協力校発表「社会科・生活科」
平	23.12. 4	皇太子殿下の台臨を仰ぎ、創立 1 4 0 周年記念式典を挙 行。
平	24.12.10	東京都教育委員会言語能力向上推進校研究発表会（2 年次）「社会科・生活科」
平	26. 1.17	東京都教育委員会言語能力向上推進校（3 年次）・千代田区教育委員会研究協力校研究発表会（1 年次）「国語科・読書」
平	26. 3.17	ベトナム国家主席歓迎行事参加（皇居）
平	26.10.29	オランダ国王歓迎行事参加（皇居）
平	26.11.11	国立教育政策研究所学力把握実践研究協力校・東京都教育委員会言語能力向上拠点校、 千代田区教育委員会研究協力校（2 年次）研究発表会「国語科・読書」
平	28.2.19	国立教育政策研究所学力把握実践研究協力校・東京都教育委員会言語能力向上拠点校 研究発表会「国語科・読書」
平	28.10.11	ベルギー王国国王フィリップ陛下及び同王妃陛下歓迎行事参加（皇居）
平	28.11. 4	国立教育政策研究所学力把握実践研究協力校・東京都教育委員会言語能力向上拠点校・千代田区教育委員会研究協力校 研究発表会「国語科・読書・理 科」
平	28.11.30	シンガポール共和国大統領トニー・タン・ケン・ヤム閣下及び同令夫人歓迎行事参加（皇居）
平	28.12.3	創立 145 周年記念式を挙 行。